

式内社データベースの構築と分布の調査

桶谷 猪久夫*¹ 前川 武*²

Construction of a Name and Location Database of the *Shikinaisha*

Ikuo Oketani*¹ Takeshi Maekawa*²

Abstract

The *Engishiki* is a 50-volume code of regulations comprising 3,300 criminal laws (*ritsu*) and administrative and others laws (*ryo*) compiled by order of Emperor Daigo by Fujiwara no Tokihira from 905 (*Engi 5*) and mostly completed by 927 (*Encho 5*). The ninth and tenth volumes are called *Engishiki Jimmyocho* and the shrines registered in these are called *Shikinaisha*, of which there are 2,861 nationwide, enshrining a total of 3,132 deities.

A database was constructed linking the names of the shrines registered in the *Engishiki*, their current names, the names of the regions, provinces and counties, and other location information.

The *Shikinaisha* are significant for understanding the origins of Japanese culture, the formation of the state, and in the study of the *Heian* period.

Key Words

Shikinaisha (Shrines registered with Jinmyocho of Engishiki),
Engishiki (Regulations and Laws of the Engi Era),
Database, Distribution of Shikinaisha

1. はじめに

日本の神祇関係の法令である「延喜式」に記載された神社（式内社）の研究は、日本文化の起源、日本国家生成の過程の研究、平安時代の研究などにとって重要な史料である。

我々は、本式内社データベースの構築をカリフォルニア大学バークレー校の運営する JHTI (Japanese Historical Text Initiative) プロジェクトの一環として開発した。このプロジ

* 1 おけたに いくお：大阪国際大学人間科学部教授（2006.9.29受理）

* 2 まえかわ たけし：大阪国際大学短期大学部助教授

エクトの目的は、日本神道を中心に古代日本の文化と日本人の精神生活の研究、その当時の事物や社会の様相を研究する資料を提供することにより、日本文化の世界への発信と国際的なコラボレーションを促進する研究である。また、外国人研究者の古典入門や研究支援だけでなく日本に関する教育にも役立つと思われる。なお、全50巻から成る律令の施行細則を記載し、古代史・法制史研究に不可欠の貴重資料である延喜式の神祇関係を取り扱った巻1から巻10までは、既に英日全文連携検索システムに実装されており、URL：<http://pnc-ecai.oiu.ac.jp/>とURL:<http://sunsite.berkeley.edu/jhti>で公開・運用されている^[89]。

本稿では、延喜式巻9と巻10（延喜式神名帳）に記載された神社（式内社）2,861社とそこに鎮座する神の数3,132座のデータベース化とそれらの位置情報を検索できるシステムを開発した。我々が設計し実現した式内社データベースの目的と概要、機能の特徴について述べる。さらに、式内社の分布状況について述べる。

2. 式内社データベースの目的と対象文献

2-1. 式内社データベース構築の目的

本式内社データベース構築の目的は、特に日本神道を中心に古代日本の文化と日本人の精神生活の研究、日本古代国家の成立史や構造の研究、民俗（民族）学的研究であり、日本文化の世界への発信と国際的なコラボレーションを促進する研究である。

法典である延喜式50巻の内、4分の1の10巻が神祇に関するものである。ここで式内社に関する研究は、日本文化の起源、日本国家の生成過程等を明らかにするために重要な研究である。また、式内社の全国的な分布は、諸豪族の所有していた土地や人民の天皇を中心とした中央集権国家への帰属と民族的統合に大きな効果をもたらしたと言える。

本研究は、Web上で式内社データベースの検索（国名、郡名、延喜式掲載の神社名、現在の神社名、住所、緯度、経度）とその地図情報との連携を構築し公開した。

2-2. 本式内社データベース構築の対象文献の概要

本式内社データベースが直接対象とする文献は、10世紀はじめに編纂された法典である延喜式の50巻の中の第1巻から第10巻までの神祇に関する部分である。なお、これらは我々が開発した日本古典史料の英日全文連携検索システムで実現され運用されている。

この延喜式第9巻と第10巻「神名帳上下」に記載された神社、いわゆる式内社のデータベースの構築、位置情報との連携化と英日全文連携検索システムの連携化を実現した。

以下に、本式内社データベースが直接対象にした文献の概要を簡単に説明する。

(1) 延喜式^[3,4,5]

「延喜式」は延喜5年（905年）、醍醐天皇の命により左大臣藤原時平を長とし12名の編集委員で編纂を開始し、時平の死後は藤原忠平が編纂に当たり、延長5年（927年）に完成し奏上され、その後も改訂が加えられ、40年後の康保4年（967年）より施行された律令の施行細則を記載した書物である。

全50巻、条数は約3,300条からなり神祇関係は第1巻から第10巻に配列されている。延

喜時代に編纂されたことから「延喜式」と称され、既に存在していた「弘仁式」、「貞観式」とあわせ三代格式と言われるが、ほぼ完全な形で今日に伝えられているのは「延喜式」だけであり、日本国家生成の過程の研究、平安時代の研究や古代史・法制史研究に不可欠の貴重文献であるといわれる。

(2) 式内社^[6]

「延喜式」全50巻のうち第1巻から第10巻が神祇関係（神祇式）で、第9巻と第10巻が延喜式神名帳といわれ、そこに記載された神社を式内社と言い社格の一つとされ、当時朝廷から「官社」として重要視された神社であることを示している。延喜式神名帳に記載された神社（式内社）は全国で2,861社で、そこに鎮座する神の数は3,132座である。

「神名帳」とは、古代律令制における神祇官が作成していた官社の一覧表のことあり、そこには国名、郡名別に神社が記載されており、また祭神、社格なども記載されている。

式内社を研究することは、日本神道を中心に古代日本の文化と日本人の精神生活の研究、その当時の事物や社会の様相を研究する上で重要であり不可欠である。

3. 式内社データベースの概要と検索機能

我々は本式内社データベースを近年の有力な研究基盤となっているWeb上で設計し検索できるように構築した。つまり、Web上から延喜式での表記の神社名、現在の神社名、国名、郡名、住所から検索可能であり、その神社の位置情報とMapとの連携化を実現した。また、我々が既の実現したXMLを利用した英日全文連携検索システムの延喜式検索システムの神社名からのリンクを実現した。

3. 1 式内社データベースの検索機能

「延喜式」の第9巻と第10巻の神名帳には、2,861社（座数では3,132座）の神社が記載されている。これらを式内社と言い、北は奥羽地方から、南は大隅・薩摩に及んでいるが、当然その「延喜式」が編纂された10世紀初頭に朝廷から官社として認定されたのが式内社であるため、その分布は畿内に多く存在し、奥羽地方や九州地方は少なくなっている。また、式内社では、官幣社が573社737座、国幣社が2,288社2,395座であるが、重要な地方にも官幣大社はあるが畿内に集中している。官幣社とは、神祇官から幣帛（神に奉獻するものの総称：みてぐら）とも「幣物」とも呼ばれる）を受け取っていたが遠隔地の神社では上京が困難であるため地方では少なくなっていたと思われる。なお、神社数と座（祭神：その神社に祭ってある神）の数が違うのは、座というのは幣帛を供進する時の神の単位で、一箇所の神社に2座またはそれ以上の神を祀るものもあるので、当然座数は社数よりも多くなる。

式内社データベースは、JHTIプロジェクトのホームページ、URL：<http://pnc-ecai.oiu.ac.jp/>とURL:<http://sunsite.berkeley.edu/jhti>のShinto Shrine Atlasからリンクされている。古代で重要な役割を果たした出雲地方の式内社から具体的な検索例で説明する。まず、全国2,861社（座数では3,132座）の式内社データベースから出雲地方の式内社のデ

ータの一部を表1に示す。

表1. 式内社データベースのデータの一部

番号	国	郡名	延喜式での表記	比定	緯度	経度	比定住所
1	出雲国	意宇	熊野坐神社名神大	熊野大社	35.2224	133.0413	八東郡八雲村熊野2451
2	出雲国	意宇	前神社	熊野大社撰社稲田神社合祀	35.2224	133.0413	八東郡八雲村熊野2451
3	出雲国	意宇	能利刀神社	熊野大社撰社伊邪那美神社合祀	35.2224	133.0413	八東郡八雲村熊野2451
4	出雲国	意宇	田中神社	熊野大社撰社伊邪那美神社合祀	35.2224	133.0413	八東郡八雲村熊野2451
5	出雲国	意宇	楯井神社	熊野大社撰社伊邪那美神社合祀	35.2224	133.0413	八東郡八雲村熊野2451
6	出雲国	意宇	速玉神社	熊野大社撰社伊邪那美神社合祀	35.2224	133.0413	八東郡八雲村熊野2451
7	出雲国	意宇	布吾彌神社	玉作湯神社飛地撰社布吾彌神社	35.2448	133.0042	八東郡玉湯町大字玉造字湯端508
8	出雲国	意宇	磐坂神社	磐坂神社	35.2411	133.0521	八東郡八雲村大字西岩坂946
9	出雲国	意宇	佐久佐神社	八重垣神社	35.2545	133.0421	松江市佐草町字八雲床227
10	出雲国	意宇	眞名井神社	眞名井神社	35.2558	133.0551	松江市山代町字伊弉諾84
11	出雲国	意宇	鷹日神社	鷹日神社	35.2714	133.0524	松江市東津田町高杉1375
12	出雲国	意宇	山代神社	山代神社	35.2625	133.0446	松江市古志原町73
13	出雲国	意宇	賣豆紀神社	売豆紀神社	35.2718	133.0349	松江市雑賀町1663
14	出雲国	意宇	野白神社	野白神社	35.2548	133.0254	松江市乃白町779
15	出雲国	意宇	布自奈大穴持神社	布自奈大穴持神社	35.2543	133.0201	八東郡玉湯町大字布志名字宮山151
16	出雲国	意宇	布自奈神社	布自奈大穴持神社撰社布自奈神社	35.2543	133.0201	八東郡玉湯町大字布志名字宮山151
17	出雲国	意宇	久多彌神社	久多美神社	35.2433	133.0230	松江市東忌部町3000-17-2

検索方法は、JHTIプロジェクトの「Dictionaries:」ボックスのプルダウンメニューから「Shinto Shrine Atlas」をクリックし式内社検索システムのWindowを立ち上げる。次に、検索対象の国名を指定（全ての国、宮中、京中、山城、大和、・・・）し、検索メニューから該当する項目（延喜式での表記、比定（現在の神社名）、現住所、郡名）を選択し、該当する検索語（キーワード）を入力し検索を実行する。具体的な検索例として、国名は「出雲」、検索メニューとして「延喜式での表記」、検索語として「杵築」を入力し、検索した例を図1に示す。

図2は検索結果表示画面であり、検索語（検索文字列）「杵築」でヒットした神社の一覧が表示される。画面の上部から検索語「杵築」、検索メニュー「延喜式での表示」、国名「出雲」とヒットした式内社の総ヒット数（：8）が表示され、その式内社の内訳が表示される。また、該当する式内社の位置情報（緯度、経度）とその所在地情報（MAP）が県単位（図3. 参照）、所在地詳細情報（図4. 参照）と25,000分の1の国土地理院MAPでその所在情報（図5. 参照）が表示可能である。

なお、ここで検索例として検索した「杵築大社」は、特に霊験著しい「名神」を祀る、臨時祭の名神祭が行われる神社で名神大社である。「名神」を祀る神社は、全て大社であるため名神大社として格式されている。

歴史学や考古学、地域研究のような人文科学の諸分野の研究において、ある時代や地域についての共時的かつ通時的な比較や考察は重要であると思われる。特に、式内社の研究においては、地理情報との連携化は、日本国家生成の過程の研究、日本人の精神生活の研究、その当時の事物や社会の様相を研究する上で重要で資料を提供すると思われる。

式内社データベースの構築と分布の調査

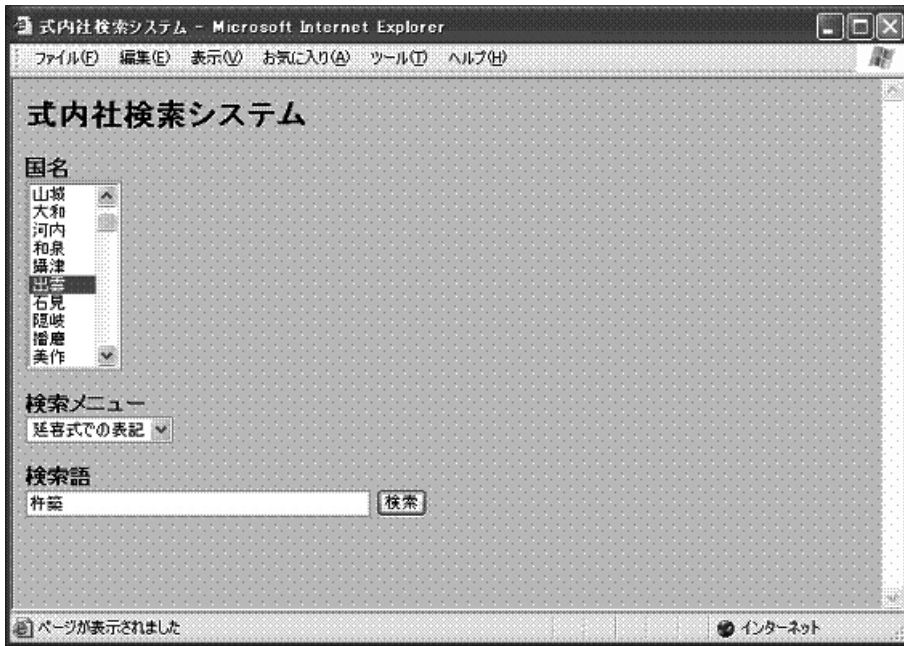


図 1. 式内社検索システムの検索画面

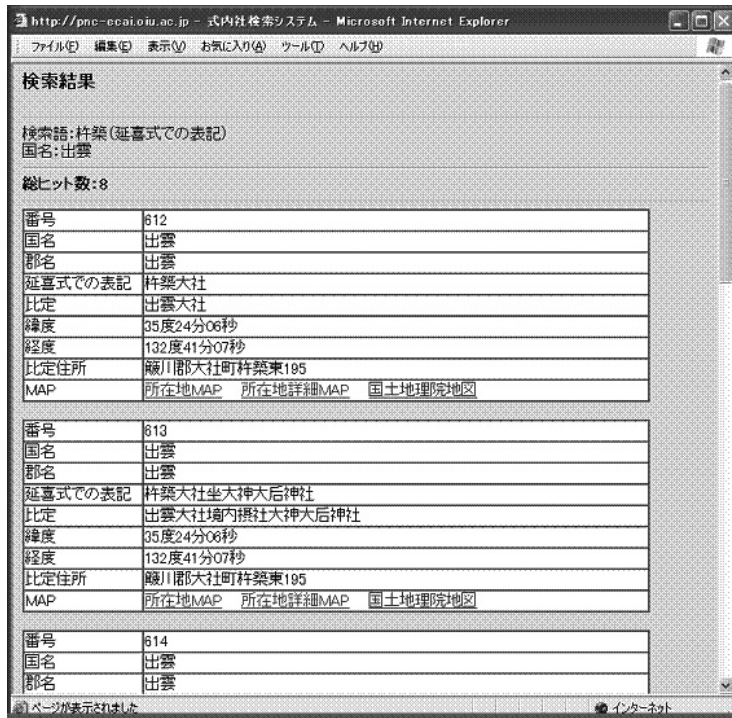


図 2. 式内社検索システムの検索結果表示画面

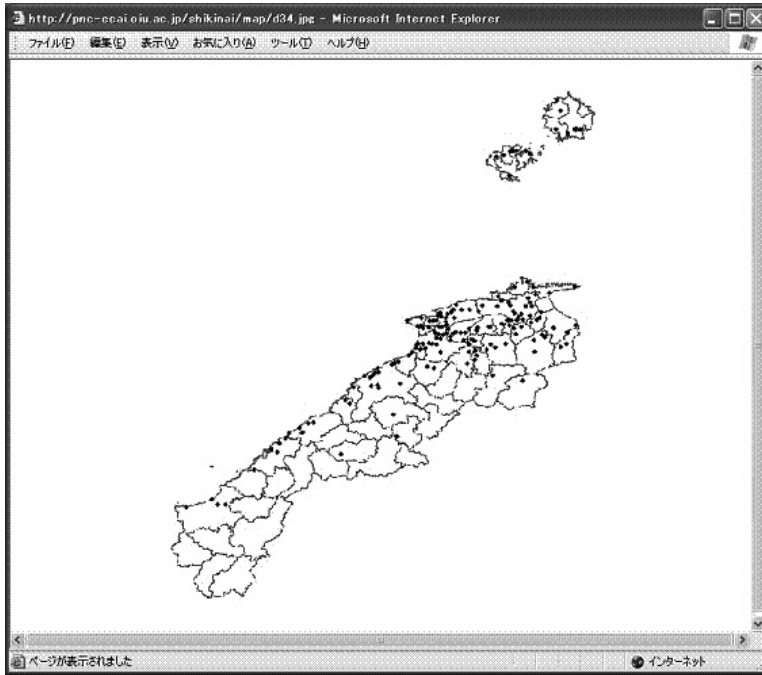


図3. 式内社検索結果の所在地MAP（県単位）の表示画面

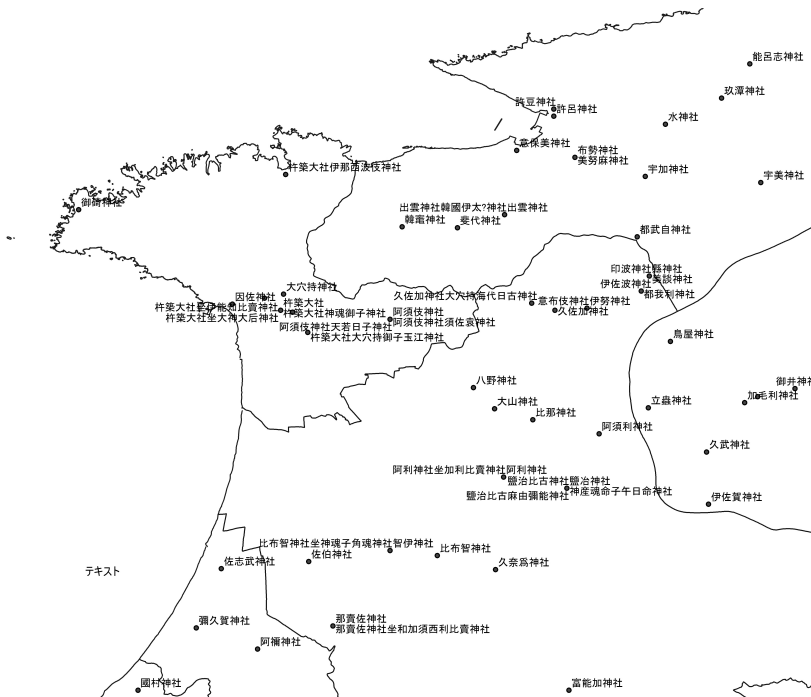


図4. 式内社検索結果の所在地詳細MAPの表示画面

式内社データベースの構築と分布の調査

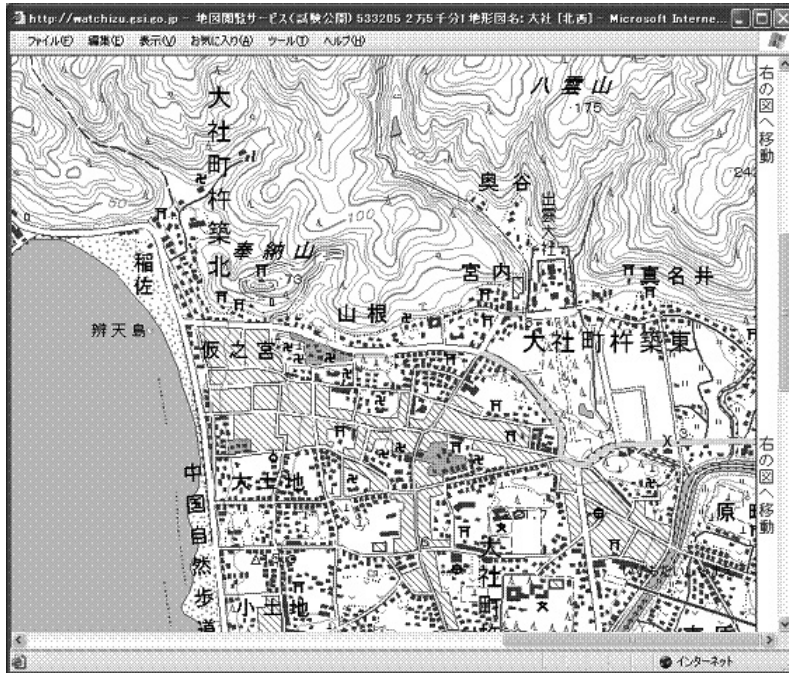


図5. 式内社検索システムの所在地の国土地理院MAP表示画面

3. 2 英日全文連携検索システムとの連携化

我々がJHTI (Japanese Historical Text Initiative) プロジェクトで既に開発・実現したXMLを利用した英日全文連携検索システム (URL: <http://pnc-ecai.oiu.ac.jp/>とURL:<http://sunsite.berkeley.edu/jhti>) の延喜式検索システム (Interactive Searching of Engi-Shiki) の国名、郡名や個々の神社名から検索可能にした。

以下に、延喜式第10巻の式内社が記載されている神名帳の一部とそれに対応する英訳文を示す (山陰地方の出雲の一部)。

延喜式卷第十 神紙十^[3]

神名下 (東山北陸山陰山陽南海西海)

・
・

出雲郡五十八座 (大一座小五十七座)

大穴持神社 杵築大社 (名神大)

同社大神大后神社 同社坐伊能知比賣神社

同社神魂御子神社 同社神魂伊能知奴志神社

同社神大穴持御子神社 同社大穴持伊那西波伎神社

同社大穴持御子玉江神社 阿須伎神社

同社神韓國伊太氏神社 同社天若日子神社

同社須佐袁神社 同社神魂意保刀自神社
同社神阿須伎神社 同社神伊佐那伎神社
同社神阿麻能比奈等理神社 同社神伊佐我神社
同社阿遲須伎神社同社天若日子神社
御碕神社 因佐神社

・
・

[延喜式の英訳本]^[4,5]

BOOK TEN

REGISTER OF DEITIES (B)

TōSAN, HOKURIKU, SAN'IN, SAN'I Yō, NANKAI, AND SAIKAI CIRCUITS

・
・

Izumo District-58 (i major, 57 minor)

Ooanamochi Shrine

Kizuki-no-ōyashiro (principal deity, major)

Ookami no Ookisaki in same Shrine

Inochihime in same Shrine

Kamutama-no-miko in same Shrine

Kamutama-inochinushi in same Shrine

Ooanamochi-miko in same Shrine

Ooanamochi-no-inasewagi in same Shrine

Ooanamochi-miko-no-tamae in same Shrine

Asuki Shrine

Kamukarakuni-itate in same Shrine

Amewakahiko in same Shrine

Susano-o in same Shrine

Kami-musubi-ohotoji in same Shrine

Kan'asuki in same Shrine

Kan'isanaki in same Shrine

Kami-ama-no-hinatori in same Shrine

Kan'isaka in same Shrine

Ajisuki in same Shrine

Amewakahiko in same Shrine

Misaki Shrine

Inasa Shrine

・
・

式内社データベースの構築と分布の調査

延喜式検索システム（Interactive Searching of Engi-Shiki）に表示された該当延喜式に記載された式内社、国名、郡名などから式内社検索システムを起動し、式内社の情報や位置情報を検索し別ウィンドウに表示可能である。

4. 式内社の全国的分布の調査

「延喜式」の第9巻と第10巻の延喜式神名帳に記載された式内社は、全国に2,861社であり、そこに鎮座する神の数は3,132座である。式内社は、延喜式がまとめられた10世紀初頭に朝廷から官社として認識されていた神社であり、その選定にはその当時の天皇制の勢力範囲・支配状況や諸豪族の力関係や帰属の状況を反映していると思われる。

表2に、各都道府県毎の式内社数と座数を示す。この表から神社（式内社）数が一番多いのは、三重県（伊勢、伊賀、志摩）であり、島根県（出雲、石見）、奈良県（大和）と続く、また京都府（宮中、京中、山城、丹波、丹後）は、神社数は第7位であるが、神社に祭ってある神の数である座数は多く第3位である。それは、宮中・京中では、神社数が12社であるのに対して、3倍の36の座数があるためである。

表2. 全国の神社数と座数の分布

番号	都道府県名	座数	神社数	番号	都道府県名	座数	神社数
1	北海道 (Hokkaido)	0	0	25	滋賀県 (Shiga)	155	142
2	青森県 (Aomori)	0	0	26	奈良県 (Nara)	289	219
3	秋田県 (Akita)	3	3	27	和歌山県 (Wakayama)	31	27
4	岩手県 (Iwate)	14	14	28	京都府 (Kyoto)	268	166
5	山形県 (Yamagata)	6	6	29	大阪府 (Osaka)	230	188
6	宮城県 (Miyagi)	50	50	30	兵庫県 (Hyogo)	240	217
7	福島県 (Fukushima)	36	36	31	岡山県 (Okayama)	55	49
8	栃木県 (Tochigi)	11	11	32	広島県 (Hiroshima)	20	20
9	群馬県 (Gunma)	12	12	33	鳥取県 (Tottori)	56	48
10	茨城県 (Ibaragi)	32	31	34	島根県 (Shimane)	237	236
11	埼玉県 (Saitama)	33	32	35	山口県 (Yamaguchi)	15	11
12	東京都 (Tokyo)	10	10	36	徳島県 (Tokushima)	50	46
13	神奈川 (Kanagawa)	14	14	37	香川県 (Kagawa)	24	24
14	千葉県 (Chiba)	18	18	38	愛媛県 (Ehime)	24	24
15	山梨県 (Yamanashi)	20	20	39	高知県 (Kochi)	21	21
16	長野県 (Nagano)	48	46	40	福岡県 (Fukuoka)	26	18
17	新潟県 (Niigata)	65	64	41	佐賀県 (Saga)	3	3
18	富山県 (Toyama)	34	33	42	長崎県 (Nagasaki)	54	54
19	石川県 (Ishikawa)	85	85	43	熊本県 (Kumamoto)	4	4
20	福井県 (Fukui)	168	155	44	大分県 (Oita)	9	8
21	静岡県 (Shizuoka)	176	172	45	宮崎県 (Miyazaki)	4	4
22	愛知県 (Aichi)	147	146	46	鹿児島県 (Kagoshima)	7	7
23	岐阜県 (Gifu)	47	46	47	沖縄県 (Okinawa)	0	0
24	三重県 (Mie)	281	259				

式内社の全国的分布状況を図6に、伊勢、伊賀、志摩（三重県）の式内社の分布を図7に、大和（奈良県）の式内社の分布を図8に示す。

式内社は、北は奥羽地方から、南は大隅・薩摩にほとんど全国に及んでいるが、当然その「延喜式」が編纂された10世紀初頭に朝廷から官社として認定されたのが式内社であるため、その分布は畿内に多く存在し、奥羽地方や九州地方は少なくなっている。また、「延喜式」が編纂された10世紀初頭に朝廷の支配が及んでいなかった北海道、青森、沖縄には存在しない。

図9に、神社数（式内社数）の都道府県毎の分布を10段階に分けて表示する。また、図10に、神社数（式内社数）の都道府県毎の分布を多い県と少ない県の2段階に分けて、0から30社までを白色で、31社から最大の259社までの県を灰色で表示した。さらに、図11に、神社数（式内社数）の都道府県毎の分布で、最大神社数の半分以下とそれ以上を白色と灰色で区別して表示した。結果として、神社数の多い10の県を灰色で表示した。



図6. 式内社の全国的分布状況

式内社データベースの構築と分布の調査

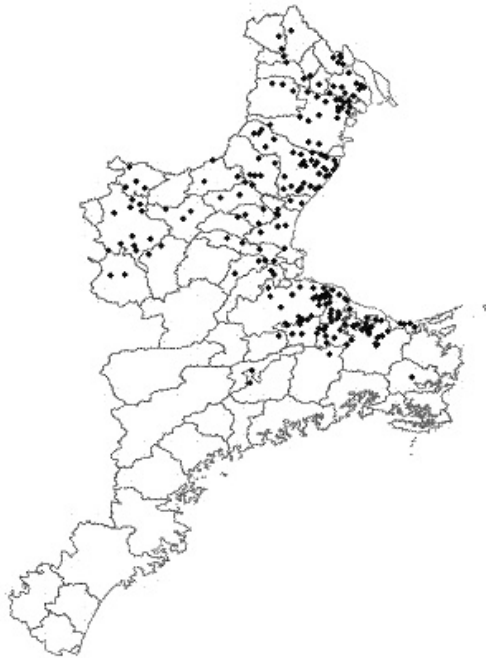


図7. 伊勢、伊賀、志摩（三重県）の式内社の分布

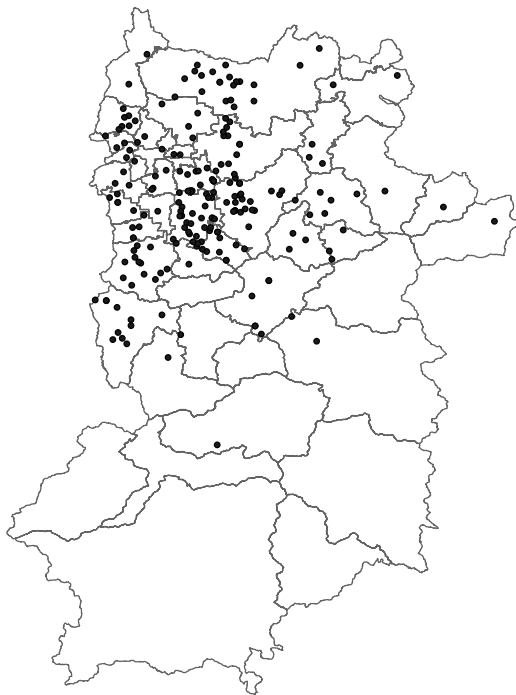


図8. 大和（奈良県）の式内社の分布

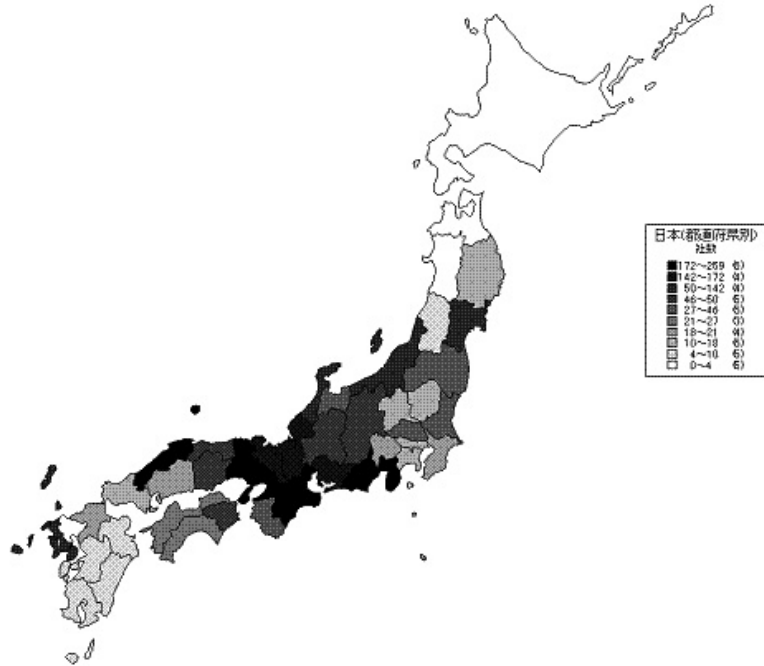


図9. 神社数（式内社数）の県毎の分布（10段階で表示）



図10. 神社数（式内社数）の都道府県毎の分布（2段階：多い県と少ない県）

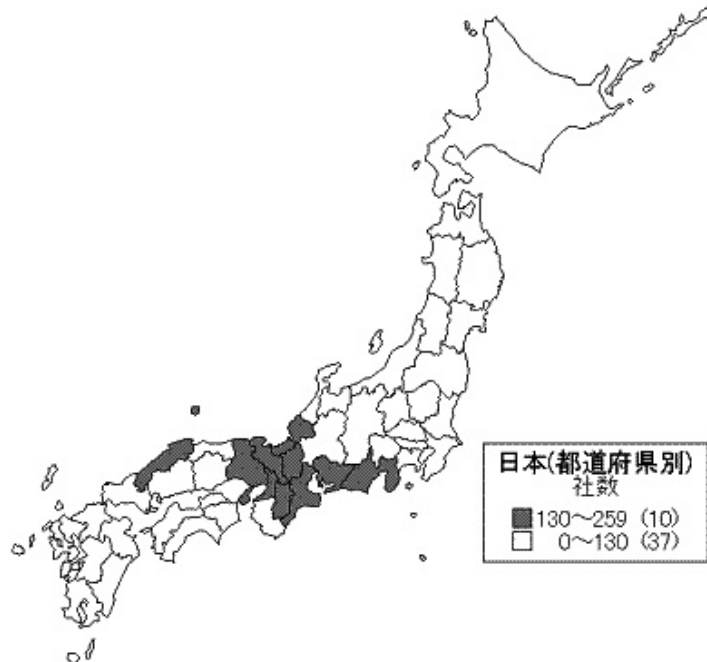


図11. 神社数（式内社数）の都道府県毎の分布（神社数の多い10の県）

5. 今後の課題

本稿では、「延喜式」に記載された神社（式内社）の地理情報との連携データベースの構築とインターネットのWebを利用した検索機能について述べた。さらに、JHTI（Japanese Historical Text Initiative）プロジェクトで既に開発・実現したXMLを利用した英日全文連携検索システムの延喜式検索システムとの連携化についても述べた。

本式内社データベースは、インターネット環境下で有効に作用し、URL：pnc-ecai.oiu.ac.jp/jhti/とURL：sunsite.berkeley.edu/JHTI/で運用されている。しかし、ここで使用した地図情報は、ArcGISのArcMap^[13]を使用しているが、誰でもがこのようなGISツールを持っていないため、本式内社データベースの地理情報は画像ファイルとして格納されている。そのため、地理情報（Map）の拡大や縮小、周辺的环境などを表示することができないのが現状である。これらの問題に対しては、我々が現在、開発している人文科学のための地理情報共有システムHu-GIS（Humanities Geographical Information Science）への移行を考えている。

最後に、本式内社データベースの構築に際して、文献の英訳文書と日本語文書の校正・編集をやっていただいた新谷廣一氏ほか関係各位に謝意を表す。

なお、本研究は科学研究費基盤研究（B）（2）「XMLを利用した日本古典史料の英日連携検索システムの設計と構築に関する研究」（平成18～20年度、研究代表者 桶谷猪久夫）

の下で行った。

【参考文献】

- [1] 桶谷猪久夫、Delmer Brown、大久保祐子、山尾正之、『XMLを利用した日本古典史料の英日全文連携検索システムの構築－日米共同研究について－』、大阪国際大学紀要「大阪国際論叢」第19巻第1号、pp.87－110, 2005.10.31
- [2] Ikuo Oketani, Delmer Brown, Yuko Okubo, “The JHTI (Japanese Historical Text Initiative) Project: A Design and Implementation of the Full Text Coordinated Retrieval System of Japanese Historical Resources using XML”, PNC (Pacific Neighborhood Consortium) 2004 Annual Conference in Conjunction with PRDLA, Taipei, Taiwan, Program & Abstracts, pp.122－123, pp. 1－21 (CD-ROM), October 18-22, 2004
- [3] 新訂増補 國史大系、『延喜式前篇』、吉川弘文館、1979.5.20, pp.1－322
- [4] Translated with introduction and notes by Felicia Gressitt Bock, Engi-shiki : Procedures of the Engi Era, Books I-V, Sophia University, 1970, pp.1－216
- [5] Translated with introduction and notes by Felicia Gressitt Bock, Engi-shiki : Procedures of the Engi Era, Books VI-X, Sophia University, 1972, pp.1－190
- [6] 式内社研究会編纂、『式内社調査報告 第1巻～第24巻』、皇學館大学出版部、1979.2.20
- [7] Shoichiro Hara, Ikuo Oketani, “Reconstruction of Historical Landscape – In the context of Ancient Shrines and their Surrounding Features –”, PNC (Pacific Neighborhood Consortium) 2006 Annual Conference in Conjunction with PRDLA & ECAI, Seoul National University, Korea, Program and Abstract, pp.52－52, pp. 1－36 (CD-ROM), August 15－18, 2006
- [8] Japanese Historical Text Initiative : <http://sunsite.berkeley.edu/JHTI/>
- [9] <http://pnc-ecai.oiu.ac.jp/>, 「Japan PNC, ECAI」ホームページ
- [10] Shishir Gundavaram “CGI Programming on the World Wide Web” O’Reilly & Associates, Inc., 1996.11
- [11] Larry Wall and Randal L.Schwartz “Programming Perl” O’Reilly & Associates, Inc.,1992.3
- [12] Randal L.Schwartz “Learning Perl” O’Reilly & Associates, Inc., 1994.4
- [13] 「ArcGIS 9 ArcMapユーザーズ・ガイド」、ESRIジャパン株式会社、pp.3－587, 2004.7.12